



 シラバス参照

タイトル「**2017年度 観光学部シラバス**」、フォルダ「**2017年度 観光学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	地域再生特殊講義A		
担当教員	永瀬 節治		
対象学年	2年	クラス	T1
講義室	E-201	開講学期	後期
曜日・時限	月3	単位区分	選必
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
科目名 (英語表記)			
授業の概要・ねらい	都市・地域の計画づくりに取り組む際には、地域の空間・景観の特色、生活環境や生業・産業のありようを、それらの歴史的経緯を踏まえながら丹念に把握することが求められる。本講義では、和歌山市内の特定の地域を対象に、都市空間に積層する地域のさまざまな情報や物語を、過去の地図や郷土資料、現地でのフィールドワークをもとに読み解きながら、都市の空間や景観のアイデンティティを解明するための基本的な調査手法を習得するとともに、そこで抽出された地域資源を、現在の地域再生・まちづくりに活かすための構想力を養うことを目的とする。なお本科目は、講義（座学）にグループワークやフィールドワーク等を交えた演習形式で実施する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 地図を読み解く 3. 空間・景観の個性を読み解く 4. 地域の形成史を把握する 5. 生活・生業（産業）を把握する 6. 多様な活動を把握する 7～8. 地域の情報を図化する 9. 中間発表 10. 地域の計画・施策を理解する 11～12. 人々の認識や考えを把握する 13～14. 地域再生を構想する 15. 最終発表・まとめ 		
到達目標	地図情報や関連資料をもとに、地域の空間・景観や歴史文化、生活、産業等の特色を客観的に把握し、それらを地域資源として価値づけ、地域再生のための具体的な活用・育成策を提示できるようになる。		
成績評価の方法	出席30%、中間成果物35%、最終成果物35%		
教科書	特に指定しない。		
参考書・参考文献	『まちの見方・調べ方 -地域づくりのための調査法入門』（朝倉書店、2010） 『図説 都市空間の構想力』（学芸出版社、2015）		
履修上の注意・メッセージ	現場に何度も足を運ぶとともに、文献・資料、ヒアリング等から客観的情報を収集し、相互のフィードバックを繰り返しながら特定の場所や地域への理解を深めることが基本となります。		
履修する上で必要な事項			
受講を推奨する関連科目	観光空間計画論		
授業時間外学習についての指示	講義時間外にも現地や図書館等に足を運び、調査対象地に関する知識を積極的に習得すること（1～2時間程度）		
その他連絡事項			



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.